

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	重度の入居者さまのお世話をしていると他の入居者様との関わる時間が少なくあり、それぞれの入居者様に対するケアが一定ではない	入居者様がその方にあった適切な量のケアを共通に受けることができる	スタッフにその日一日の担当制や日勤帯のリーダー制を導入する。	1年
2	34	経験の少ない職員もあり、突発的な入居者様の急変時の対応に不安がある。	スタッフ全員で冷静な判断ができるように知識を身につけたい	医療従事者の協力を得て、実践力を身につける為に様々な状況のシュミレーションを行う。	1年
3	49	それぞれの体調や健康状態により、ご本人の希望通りには外出は難しい状況となってきている。身体状況が可能な方はご家族との外出、外泊の機会がある時は、出かけられるように数日前から準備をしているが、全員ではないので外出の機会を増やしたい。	入居者様の外出の機会を多く持ちたい	入居者様の身体状況に合わせて、少人数の外出の機会をつくっていききたい。行事についても早い時期から準備をして多くの方に外出の機会をつくる	1年
4	4	運営推進会議に地域包括支援センターの職員や町内会の方の定期的な参加を頂いていない。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員や地域の方が定期的に参加できるようにしたい	法人内のケアハウスと協力して地域包括支援センターの職員、町内会の方を運営推進会議に参加して頂けるシステムをつくる。また、避難訓練にも参加を要請して災害時に備えたい。	1年
5	2	法人内の通所利用者様が散歩途中に寄られたり、地域の小学校の学芸会、中学校の職場体験の受け入れなど交流しているが、事業所単体としての町内会、地域住民との交流の機会は少ない。	町内会の方との交流が図れ、入居者様の社会参加できる機会を持つ	町内会行事であるお祭りの日程を事前に教えて頂き、早い時期から準備をして参加をする	1年
6	8	成年後見制度、権利擁護事業について、年に1回はパンフレットを基に研修をしているが、前回評価時には、地域包括支援センターの方々に研修や地域の最新情報をお願いする事を目標としていた。実現できていない。	成年後見制度、権利擁護事業について、地域包括の職員から専門の見地から職員に講習の機会をつくりたい	地域包括支援センターと調整し開催したい	1年
7	10	運営推進会議でご家族からの要望を拾い上げるようにしている。出された要望を協議しているが、実現していない内容もある	運営推進会議で話されたご家族からの要望をスムーズに実現できる方法を考えたい	入居者の家族様へのアンケートの実施や運営推進会議後の管理者会を実施して、要望等をスムーズに実現できるようにしたい	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。